

第1回総合戦略推進アドバイザー懇談会議事録

日時	令和5年2月28日(火) 10時00分～11時30分
場所	みのかも健康プラザ1階 研修室1
委員	出席者 (敬称略) 【産】(株)フジイ 代表取締役 【官】岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター センター長 【学】中部学院大学短期大学部幼児教育学科 教授 【金】東濃信用金庫美濃加茂支店 支店長 【労】ハローワーク美濃加茂 所長 【言】みのかもフリーペーパー歩好里人 代表
事務局	市民協働部 ひとつくり課

1 開会

2 あいさつ

3 総合戦略アクションプランの進捗状況について

【事務局】

・総合戦略アクションプランの進捗状況について説明をした。

【アドバイザーからの意見】

・ステージごとのKPIについて教育の数値が低い。

・それぞれの活動の満足度は高いかもしれないが、全体の活動としての見える化ができると良い。

・幼児保育について、外国籍の方など預ける場所がわからず、就労できていなケースが見受けられる。情報を得る手段はあるのかどうか。

【事務局】

・課外活動などの若者に対する活動が少なくなりましたが、親子で参加する事業などを復活させると、個別のアンケートの満足度は高いので、活動のPRが今後はさらに重要になってくるかもしれない。

・幼児保育のPRについて具体的な内容は個別に確認をします。

【アドバイザーからの意見】

・妊娠・出産について、お父さんの教室参加者数は低いが、参加していなくても育児や家事に協力的な男性は増えている。できていない人たちを対象にするなど、子育て支援の形を変えてもいいのではないかと。

・男性の悩み相談などの場を設けると、男性の悩みの解消につながるのではないかと。

【事務局】

・実態としては家事育児をする若い男性は増えている。男性の育休アピール、中小企業等の男性側の環境整備がまだまだ追いついていない。

4 総合戦略アクションプランの追加事業『古民家を活用したシェア工房等整備事業』について

【事務局】

- ・総合戦略アクションプランの追加事業について説明をした。
- ・ライフ・ワーク・バランスの実現、プライベートと仕事の両立の支援事業としまして、旧櫻井邸の古民家を活用したシェア工房、コワーキングスペース、及び講座の実施等が行えるシェアスペースなどとして利用できるよう整備予定。

【アドバイザーからの意見】

- ・コワーキングスペースではネット環境が整ったテレワークを見込んでいるのか、ものづくりに特化しているのか。

【事務局】

- ・単なる貸し部屋、古民家ホテルなどの経済面だけでなく、地域にとって必要な場所、里山資源を生かした設備となるよう重きを置いている。

⇒アクションプランへの事業追加について反対意見はありませんでした。

5 地方創生推進交付金事業の評価について

【事務局】

- ・地方創生推進交付金事業の評価について説明をした。

対象事業は以下の4事業

- ・シビックプライドの醸成による定住促進事業
- ・グローバルな人材の育成を目指して「多文化共生推進事業」
- ・インバウンド推進による外国人材との共生と共創の事業
- ・女性が輝けるまちみのかも「Caminho(カミーノ)推進事業」

・シビックプライドの醸成については、アパレル企業のビームスさんの発信力を使って市内の産品をPRしたり魅力をブラッシュアップ。ふるさと納税の返礼品に採用し成果があった。

- ・若い世代に美濃加茂市のよさを体感していただくKPIも設定している。

20代・30代の美濃加茂市に住み続けたいと思う人の割合が、目標達成には及ばないが、右肩上がりで効果が出ている。

・グローバルな人材の育成を目指した「多文化共生推進事業」のうち、青少年海外派遣については、コロナにより実施できていない。小中学校への外国人児童生徒の就学率は高い割合を保っている。

・インバウンド推進による外国人材との共生・共創事業については、外国人観光客の宿泊者数については、コロナの影響を最も受け、目標値には全く届いていない。

事業に関与する外国人数、事業所数は達成できており、土台はできている。

・「カミーノ推進事業」については、カミーノアクションプランを柱にした事業展開、女性活躍支援センター事業の2つを推進している。

リオラについては、移転を繰り返し、みのかも健康プラザに落ち着いた。

ハローワークの力を借りて就労支援や心の拠り所となるような施設を目指している。相談に見えた方や講座を受けられた方から非常に高い評価を頂いている。

【アドバイザーからの意見】

〈シビックプライド〉

美濃加茂市紹介リーフレット(MINOKAMO STORY)について

・美濃加茂市の魅力として、柿や山之上のフルーツ、中山道に加え、ヤマザキマザック工作機械博物館を追加していただきたい。

・工場見学は子どもにもものづくりの魅力をアピールできる。製造業の人手不足や衰退を防ぐために興味を持ってもらえるとよいのではないか。

6 美濃加茂市女性活躍支援センターについて

【事務局】

・美濃加茂市女性活躍支援センターRe:ola(リオラ)について説明した。

【アドバイザーからの意見】

・コロナ禍の中、オンライン講座が増えているが、若い方などはオンラインの受講が増えている。年配の方の参加が難しい場合もあるが、コロナに関わらずオンラインの利用は継続してよいものもあると思う。

・ZOOMを使った会議のやり方を学ぶ講座を開催してもよいのではないか。

・高校生の出前講座の開催については、これからの10年後、20年後にとってよいものとなると思う。

・女性の活躍も必要だが、今、20代、30代男性で働けない男性が増えている問題がある。

・若い世代の知恵や知識を活用して情報発信していくことが大事。

・対面は対面のよさもあるので残しつつ、デジタルとの使い分けが必要。

7 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」について

・メディアで美濃加茂市の発信はしているのか。

【事務局】

・情報を拡散するような知識や技術がない。

・デジタル田園都市国家構想交付金について説明した。

8 閉会